



ADRC Highlights

Vol.120

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 July 2005

➤ 防災における放送局の役割に関するワー クショップがタイ・バンコクで開催

2004年12月26日に発生したインド洋大津波は、早期警戒システムの構築という課題を私たちに残しましたが、放送局は同システム構築にあたって重要な一構成要素であることはもちろん、防災の様々な場面で重要な役割を果たしているところ です。

こうしたことから、国連国際防災戦略事務局 (UN/ISDR) およびアジア太平洋放送連盟 (ABU) は共催で、2005年6月13~16日、タイのバンコクにおいて、この度のインド洋津波被災国の放送局関係者を対象にしたワークショップを開催し、アジア防災センター (ADRC) から所長の北本が参加し、招待講義を行いました。

本ワークショップは4日間行われ、前半2日間は災害関連緊急情報の伝達における役割、後半2日間は防災意識の向上・知識の普及における役割をテーマに、参加者を入れ替える形で行われました。

前半のワークショップでは、所長の北本がプレゼンテーションを行い、



TDRM (Total Disaster Risk Management、総合的防災政策) と日本の防災における放送局の位置づけと役割・活動などを紹介しました。またNHKの小嶋気象災害センター長の発表では、実際に地震が発生した時のスタジオの様子の映像を見せながら、災害情報提供部局との緊密な連携、緊急時において冷静かつ瞬時に正確な情報を提供できるような平常時からの備え、報道キャスターに対する訓練などの重要性について強調しました。

後半のワークショップで北本の講演では、防災意識の向上・知識の普及を図るためには、放送局が災害に関する正確な知識を持ち、国民に伝え続けていくことの重要性を訴えました。

今回のワークショップは、各参加者が防災における放送局の役割を改めて認識したことから成功裡に終了したと言えますが、災害情報提供部局等との連携は今回のワークショップ開催のみで図れるものではなく、今後各国において他の防災関係者をも巻き込んだ形での研修の必要性が感じられるところです。

なお、この件につきましては、所長の北本 (kitamoto@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ ADRC スタッフ紹介 □ 長野 公一 管理部長

本年2005年4月に兵庫県庁から派遣されました長野公一と申します。アジア防災センター (ADRC) に着任する前は、今年1月に兵庫県神戸市で開催されました国連防災世界会議 (WCDR) 担当部署に所属して、地元政府として同会議の運営に携わっておりました。その際の私の具体的な業務としましては、広報や会議ボランティアの募集・選考、会場の整備、会議参加者のために送迎・宿泊・警備・医療などの準備や調整があげられます。会議準備中に発生しました、2004年12月のインド洋大津波による甚大な被害状況を見るにあたり、アジア防災センターによる国際防災協力の必要性を改めて認識しております。



1995年1月の阪神・淡路大震災の時は、私自身は、米国ワシントン州に留学中でしたが、実家で家屋被害、伯父と伯母も被災しました。こうした大震災の経験や教訓を国際協力に活用することが、兵庫県の責務であり強みだと考えております。

当センターでの業務は、同センターの運営・財務管理が主体となっております。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われて久しいですが、私もこれを胸に、当センターメンバー国を中心に各国での自然災害による被害軽減に貢献できるよう業務を遂行して行く所存です。今後ともご協力・ご指導のほどよろしくお願いいたします。

➤ アジア最新災害情報 □ インドでの洪水

インド西部のグジャラート州を中心に、2005年6月よりモンスーンによる降雨が絶え間なく続いており、これにより洪水が発生、7月4日現在で少なくとも132人が死亡、400,000人が家を失ったと報告されました。同州の中には、雨量により、水深2~3メートルのところも発生、4,500世帯で停電も起きているなど、深刻な被害が相次いでいます。洪水により取り残された被災者に対して、インド政府では、軍を動員させ、ヘリコプターによる緊急食糧袋の投下、モーターボート等による医療チームの派遣や医薬品など緊急援助物資の搬送などの対応を行っています。

なお、これについては、当センターホームページの最新災害情報 www.adrc.or.jp をご覧ください。GLIDE番号は、FF-2005-000104-INDです。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540